

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	鍼灸臨床実技Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	4校舎実習室
担 当 教 員	北田 覚	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>これまでに学習した鍼灸治療の知識を実技で経験することにより、実際の治療現場における対応力を習得する また、発展的応用実技を実践し、臨床で活用できる技術を身に付ける</p>						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料、及び課題としての記載済カルテ						
《授業外における学習方法》						
<p>前期は鍼灸治療学ⅠおよびⅡに対応した実技科目である。出題されたカルテを記入し、実技に臨むこと 後期は発展的応用実技を実施するので学生同士練習をすること</p>						
《履修に当たっての留意点》						
カルテはその患者の傷病内容や治療方針が記載してあり、他の職員との情報共有や傷病の経過を記録するものであるため非常に重要度が高い。実際の現場では必ず作成するものなので、気を入れて練習をしてもらいたい						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩部のスポーツ障害の治療が実践できる	配布資料 鍼灸道具	鍼灸治療学ⅠおよびⅡの該当範囲を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	スポーツ障害①: 肩部の治療について学習する			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	肘部・手部のスポーツ障害の治療が実践できる	配布資料 鍼灸道具	鍼灸治療学ⅠおよびⅡの該当範囲を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	スポーツ障害②: 肘部・手部の治療について学習する			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰部のスポーツ障害の治療が実践できる	配布資料 鍼灸道具	鍼灸治療学ⅠおよびⅡの該当範囲を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	スポーツ障害③: 腰部の治療について学習する			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰部のスポーツ障害の治療が実践できる	配布資料 鍼灸道具	鍼灸治療学ⅠおよびⅡの該当範囲を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	スポーツ障害③: 腰部の治療について学習する			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	膝部・足部のスポーツ障害の治療が実践できる	配布資料 鍼灸道具	鍼灸治療学ⅠおよびⅡの該当範囲を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	スポーツ障害④: 膝部・足部の治療について学習する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	耳鼻科疾患の治療が実践できる	配布資料 鍼灸道具	鍼灸治療学ⅠおよびⅡの該当範囲を復習しておく
		各コマにおける授業予定	耳鼻科疾患の治療について学習する		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	耳鼻科疾患の治療が実践できる	配布資料 鍼灸道具	鍼灸治療学ⅠおよびⅡの該当範囲を復習しておく
		各コマにおける授業予定	耳鼻科疾患の治療について学習する		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	皮膚科疾患の治療が実践できるその他疾患	配布資料 鍼灸道具	鍼灸治療学ⅠおよびⅡの該当範囲を復習しておく
		各コマにおける授業予定	皮膚科疾患の治療について学習する		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神科疾患の治療が実践できる	配布資料 鍼灸道具	鍼灸治療学ⅠおよびⅡの該当範囲を復習しておく
		各コマにおける授業予定	精神科疾患の治療について学習する		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	泌尿器疾患の治療が実践できる	配布資料 鍼灸道具	鍼灸治療学ⅠおよびⅡの該当範囲を復習しておく
		各コマにおける授業予定	泌尿器疾患の治療について学習する		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	婦人科疾患の治療が実践できる	配布資料 鍼灸道具	鍼灸治療学ⅠおよびⅡの該当範囲を復習しておく
		各コマにおける授業予定	婦人科疾患の治療について学習する		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	関節リウマチの治療が実践できる	配布資料 鍼灸道具	鍼灸治療学ⅠおよびⅡの該当範囲を復習しておく
		各コマにおける授業予定	関節リウマチの治療について学習する		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害の治療が実践できる	配布資料 鍼灸道具	鍼灸治療学ⅠおよびⅡの該当範囲を復習しておく
		各コマにおける授業予定	脳血管障害の治療について学習する		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	これまでの学習内容から症例に対する治療を実践できる	配布資料 鍼灸道具	これまでの学習内容を復習しておく
		各コマにおける授業予定	これまでの学習内容を基に、症例に対し治療の実践を行う		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	これまでの学習内容についての治療が実践できる	配布資料 鍼灸道具	これまでの学習内容を復習しておく
		各コマにおける授業予定	総合確認、まとめ		